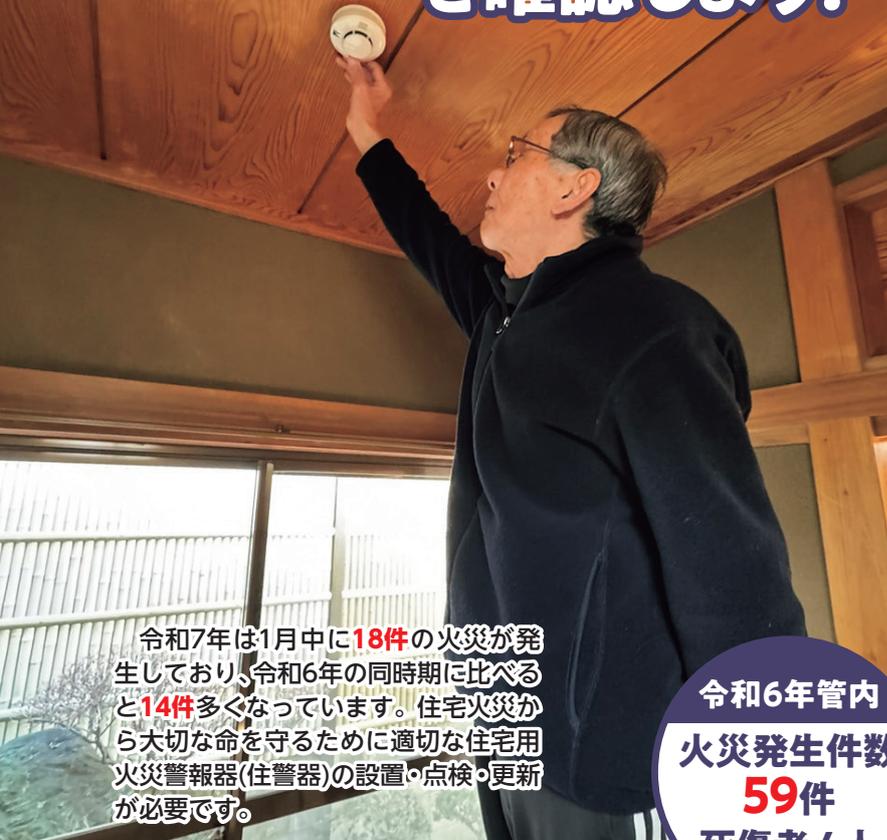


# 逃げ遅れで死傷者を出さないために! 住宅用火災警報器 を確認しよう!



令和7年は1月中に**18件**の火災が発生しており、令和6年の同時期に比べると**14件**多くなっています。住宅火災から大切な命を守るために適切な住宅用火災警報器(住警器)の設置・点検・更新が必要です。

令和6年管内  
火災発生件数  
**59件**  
死傷者 4人



## 緊急特集

# 火災多発中! 3月は 火災予防 強化月間 です!

3月は火災が多発することから、市独自の「火災予防強化月間」としています。また、全国でも1日(土)~7日(金)は「春の全国火災予防運動」です。ちょっとした用心で火災は防ぐことができます。

閏消防本部予防課  
(☎ 0848-64-5927)

市庁 ▶



## 管内火災原因のダントツ!!

# 田植え前の 『草焼き』に気を付けて!!



農業にとって重要な草焼きですが、管内では令和6年に草焼きを原因とする火災が19件発生しています。手順を守り、十分注意しましょう。

2

### 事前に管轄する消防署、出張所に届け出をしよう

紛らわしい煙や火災が発生する恐れがある場合は、文書または電話で届け出てください。

主な届け出先

三原消防署  
(☎ 0848-64-5928)  
三原西消防署  
(☎ 0848-86-2119)  
大和出張所  
(☎ 0847-33-0119)  
久井出張所  
(☎ 0847-32-5222)

1

### 周囲の状況の確認は怠らずに

山の麓<sup>ふもと</sup>や周囲に燃えやすいものがないか、事前に十分確認しましょう。

私と一緒に手順を確認しましょう!

消防本部  
森田予防課長



草焼きの手順

## 住宅用火災警報器の 簡単診断 ができます



住宅用火災警報器は設置して終わりではなく、その後の点検や交換も必要不可欠です。交換期間を過ぎると、電池が切れて作動しないこともあります。

火災が起きた時、住宅用火災警報器が適切に作動するかどうか、ウェブで診断してみましょう。

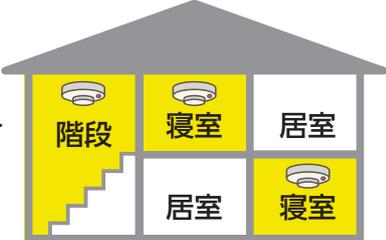
5分程度で回答できる  
簡易診断を用意しています



▲診断フォーム

**Q 住警器はどこに設置するの？**  
**A 寝室と階段に設置を！**

基本は寝室に設置。2階に寝室がある場合は寝室と階段上部に設置が必要！



寝室や階段には煙に反応する「煙式」、台所や車庫には一定の温度に達すると作動する「熱式」を推奨。

**Q 住警器の点検はどうやるの？**  
**A ボタンを押す、ひもを引く作動確認をしましょう！**

**音が鳴らない場合は？**

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。

※それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

**正常な場合は？**

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

注) 警報音はメーカーや製品により異なります。

発行元：一般社団法人 日本火災報知機工業会

**Q 高齢で設置できるか不安…**  
**A 消防本部へ連絡を！**

購入した住警器の取り付けが困難な人には、設置をサポートしています。☎ 消防本部予防課(☎ 0848-64-5927)

※消防本部は購入の仲介はしません。訪問販売詐欺に注意してください。



じゅうけいき  
**住警器 Q&A**

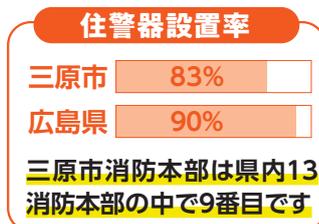
家庭内での火災の発生をいち早くキャッチし、知らせしてくれる住宅用火災警報器について解説します。



**住警器 レンジャー 参上!!**

**Q 住警器は付けないといけないの？**  
**A 条例で設置が義務付けられています！**

平成23年6月から新築・既存の全ての住宅で設置が義務に！しかし市の設置率は83%です(令和6年6月時点)。自宅や、特に高齢家族が住む家の設置状況を確認しましょう。



**Q 住警器の役割は？**  
**A 火事に気付き大切な命や財産を守ることができます！**

令和6年2月に市内で発生した住宅火災では、住警器の作動により初期消火ができたため、被害を抑えることができました。

近年管内で発生した住宅火災について住警器の設置効果を分析

住警器作動	有(5件)	無(7件)
死者(のべ人数)	0 (負傷者1)	2 (負傷者1)
焼損床面積(m <sup>2</sup> /件)	0.2	103.4
損害額(千円/件)	37.2	2,175

住警器が作動した場合は命を守り、損害額を抑えることができます。

**「大丈夫だろう」が命取り！**

**火災発生は土曜日の昼間が最多！**

気象状況の見誤りや、食事のための帰宅などの油断が危険を招きます。「来週から雨だから」「帰省して手伝っているから」などの理由で強行するケースも。しかし、火災が起きると大切な命や財産を失うこととなります。実施は計画的に、状況によっては中止を検討しましょう。

**5 火がきちんと消えているか最後まで確認を！**

水を掛けても、くすぶっていれば再燃する可能性があります。



**4 草焼き中はその場を離れない！**

少し風が強くなるだけで一気に燃え広がるため注意！



**3 天候の確認、水バケツなどを用意！**

枯れ草などを小分けにして燃え広がらないように注意しましょう。

**風が強い、乾燥している場合は中止しよう！**

